

# 平成26年度 決算の概要

## 決算規模(一般会計)

歳入は前年度比4.2%増の46,715,317千円、歳出は同5.4%増の46,216,119千円

歳入決算額 46,715,317千円

(前年度比 +1,899,226千円 4.2%増)

歳出決算額 46,216,119千円

(前年度比 +2,365,229千円 5.4%増)

## 形式収支・実質収支(一般会計)

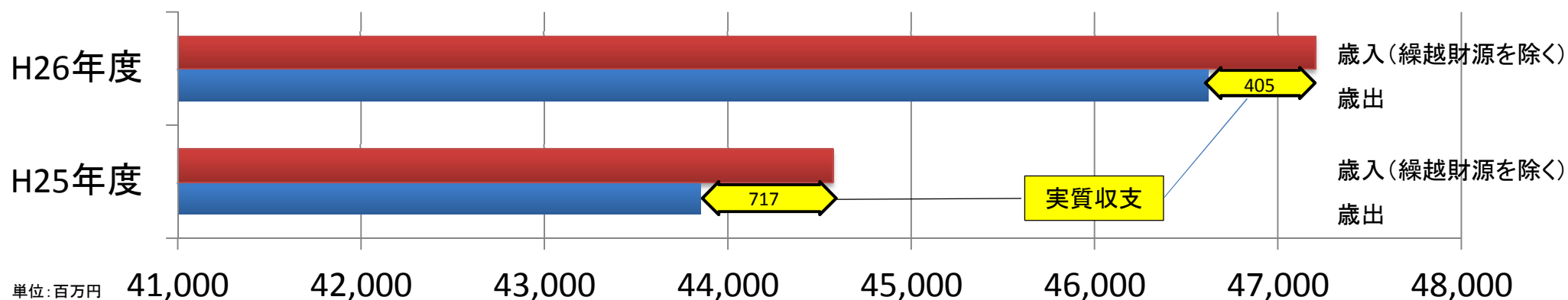
歳入から歳出を引いた形式収支は前年度比48.3%減の499,198千円、その形式収支から繰越事業のため翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は同43.5%減の405,283千円

形式収支 499,198千円

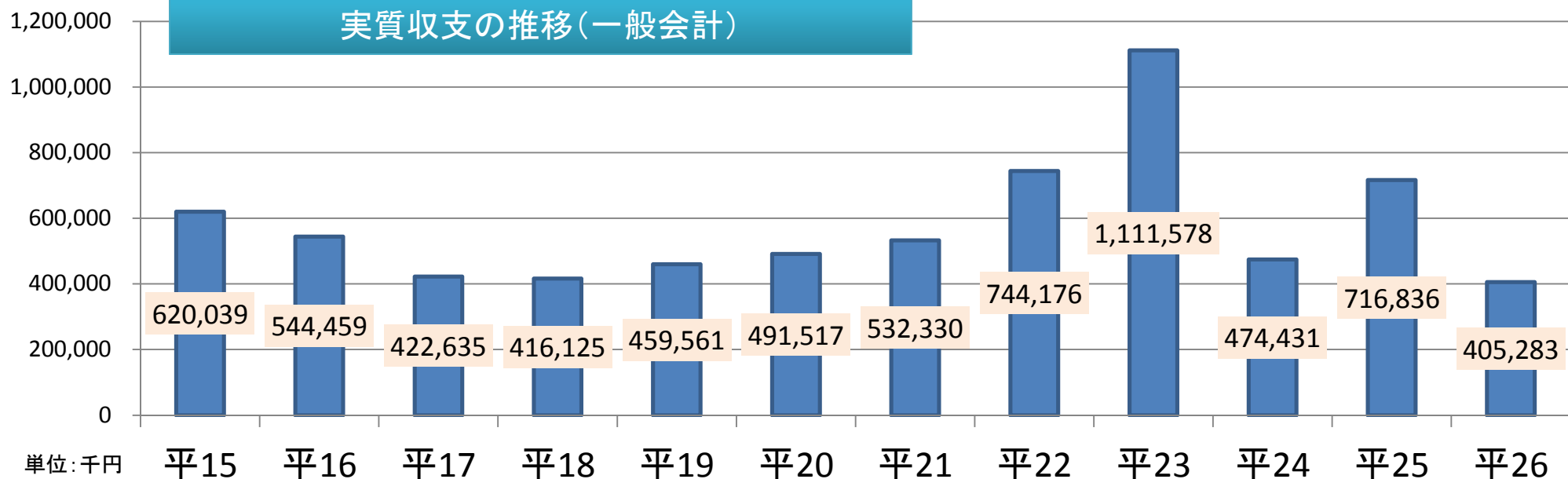
(前年度比 ▲466,003千円 48.3%減)

実質収支 405,283千円

(前年度比 ▲311,553千円 43.5%減)



## 実質収支の推移(一般会計)



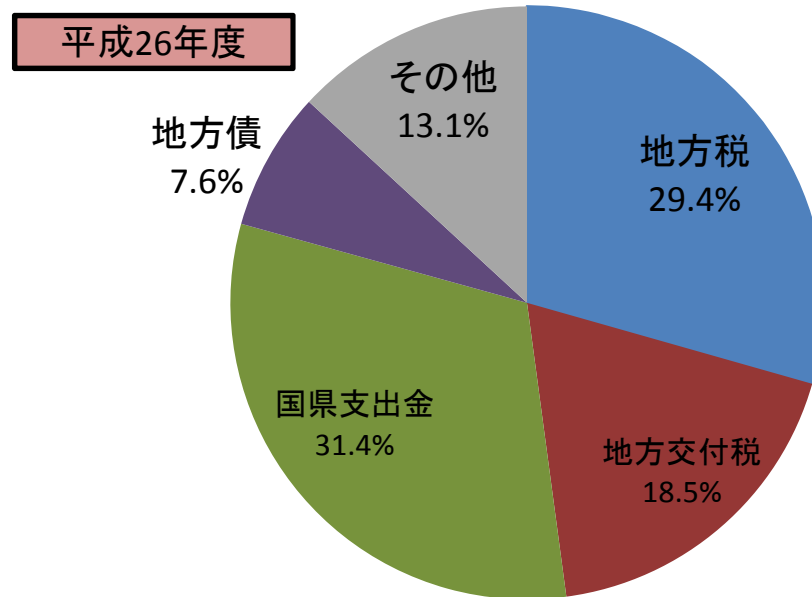
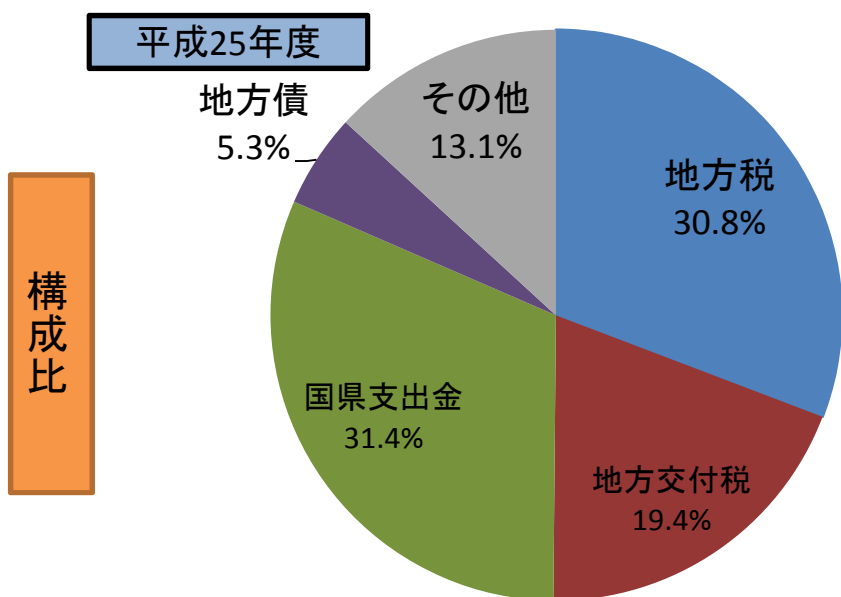
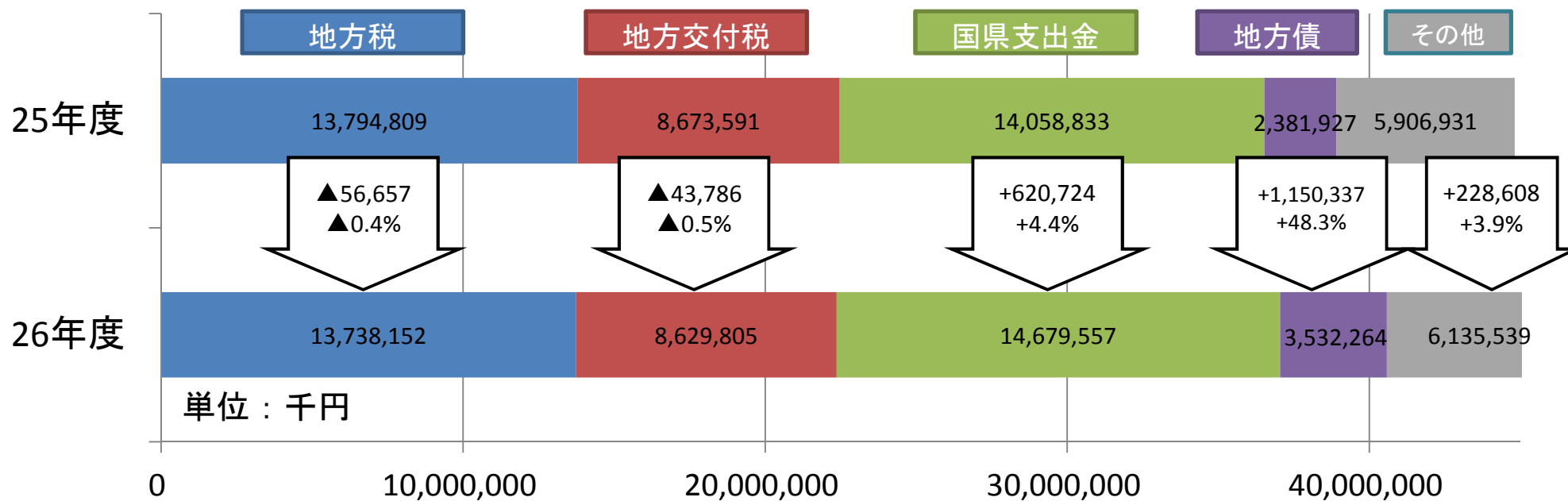
## 決算規模(特別会計)

特別会計の実質収支は前年度比562,682千円減(42.2%減)の769,528千円

単位:千円

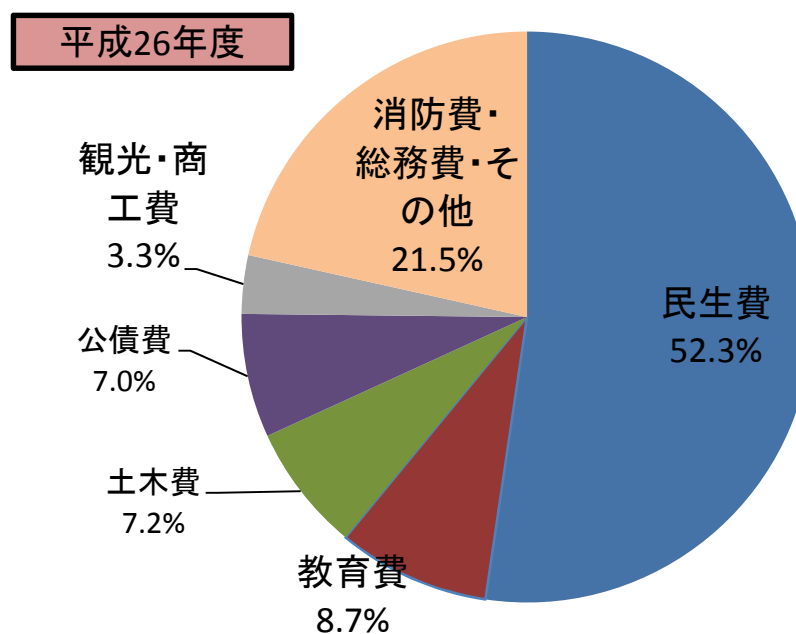
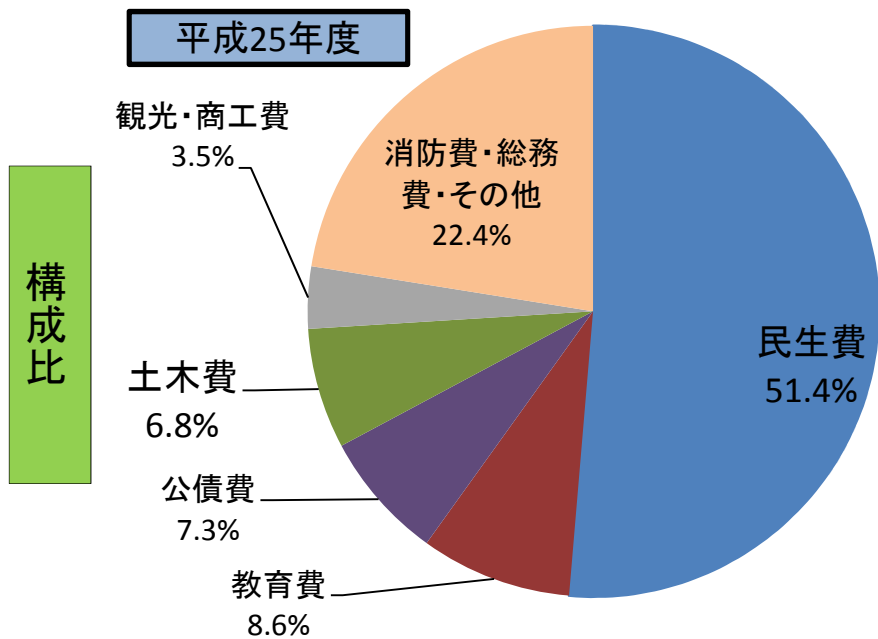
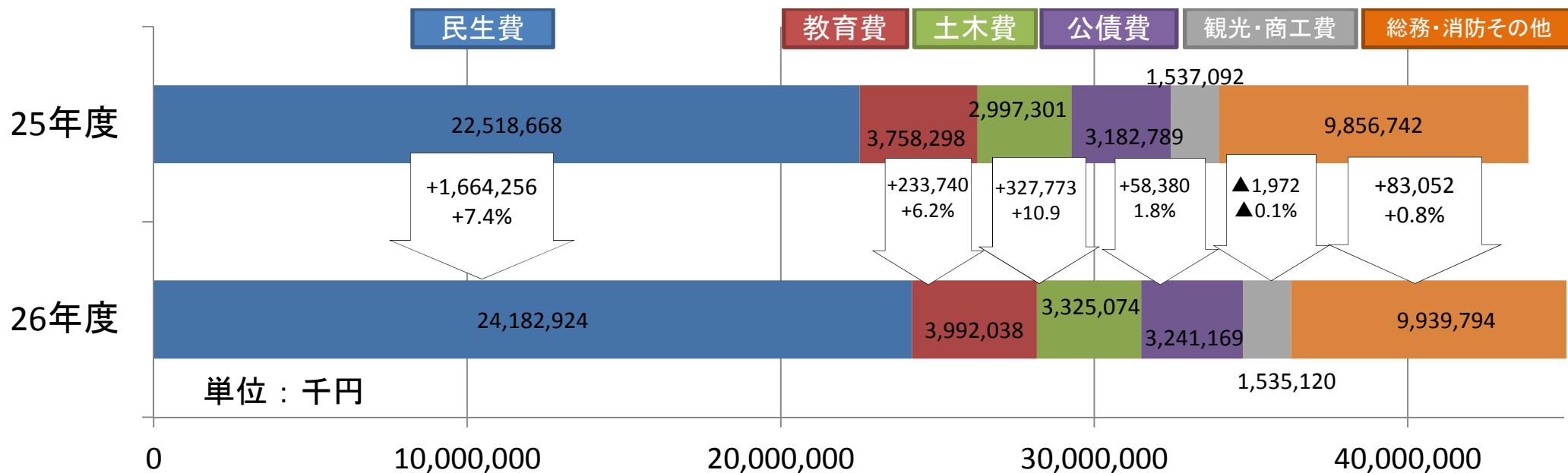
	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	翌年度からの繰上充用額
国民健康保険事業	15,282,721	15,358,277	▲ 75,556	0	▲ 75,556	75,556
競輪事業	13,643,143	13,039,938	603,205	0	603,205	—
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	—
公共下水道事業	2,551,636	2,399,175	152,461	2,088	150,373	—
地方卸売市場事業	44,943	44,943	0	0	0	—
介護保険事業	11,381,966	11,297,600	84,366	0	84,366	—
後期高齢者医療	1,521,697	1,514,557	7,140	0	7,140	—
特別会計 合計	44,426,106	43,654,490	771,616	2,088	769,528	75,556

# 歳入の状況（一般会計）



構成比

# 目的別歳出の状況(一般会計)



市民一人あたりの決算額(一般会計)

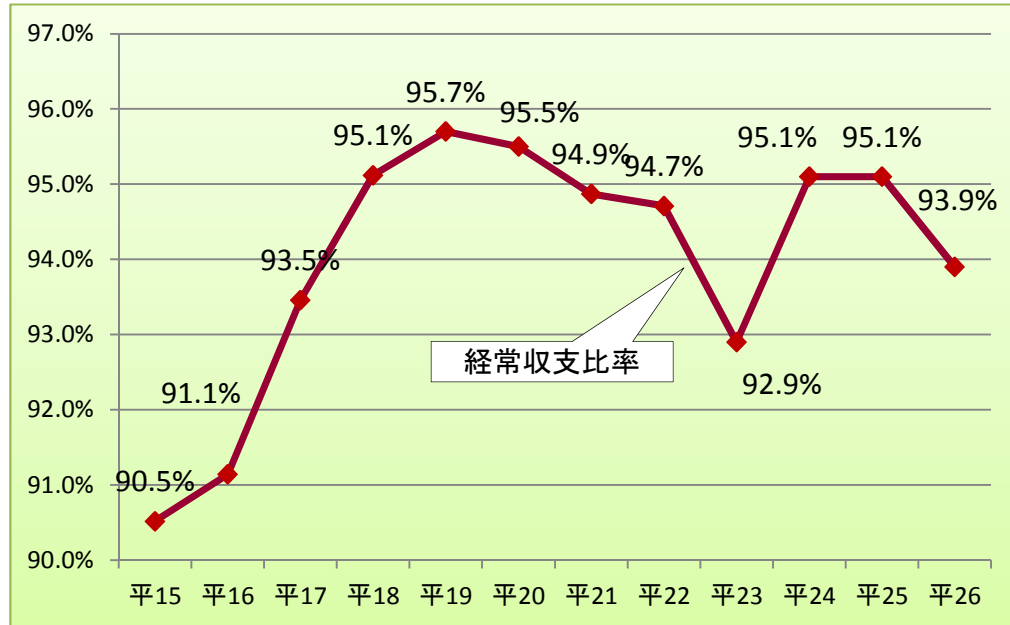
		平成26年度 (120,185人)		平成25年度 (121,026人)	
		決算額	市民一人あたり	決算額	市民一人あたり
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉	24,182,924千円	201,214円	22,518,668千円	186,065円
議会費・総務費	市議会・市役所の運営など	5,407,155千円	44,990円	5,533,017千円	45,718円
教育費	幼稚園・小・中・高等学校教育・社会教育・スポーツ振興など	3,992,038千円	33,216円	3,758,298千円	31,054円
土木費・災害復旧費	道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧など	3,378,840千円	28,114円	3,028,050千円	25,020円
公債費	市債(借金)の返済	3,241,169千円	26,968円	3,182,789千円	26,298円
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全など	2,294,645千円	19,093円	2,718,877千円	22,465円
消防費	消防・防災対策など	1,799,510千円	14,973円	1,208,124千円	9,982円
商工費・観光費	商工・温泉・観光振興など	1,535,120千円	12,773円	1,537,092千円	12,700円
労働費・農林水産業費	消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	384,718千円	3,200円	365,975千円	3,024円
合 計		46,216,119千円	384,541円	43,850,890千円	362,326円

# 普通会計決算の主な財政指標

経常収支比率 93.9%(H25 95.1%)

経常収支比率は、市税や普通地方交付税などの経常的な収入が、人件費や扶助費などの経常的な経費に、どの程度充てられているかを示す指標です。

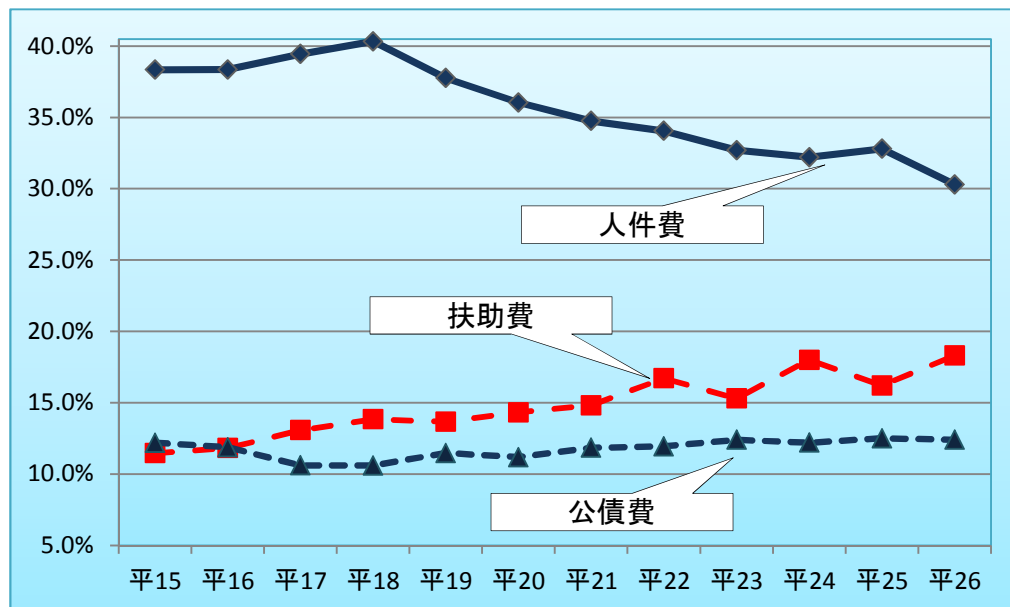
平成26年度の比率は、扶助費や繰出金の影響などにより経常的な経費への充当額は増加しましたが、歳入において臨時財政対策債が増加したため、前年度から1.2ポイント改善し、93.9%となりました。



## 義務的経費の経常収支比率

義務的経費である人件費の経常収支比率は30.3%、扶助費は18.3%、公債費は12.4%です。人件費の比率は、定員適正化計画や給与構造改革の実施により低下傾向にあります。扶助費の比率は上昇傾向にあります。

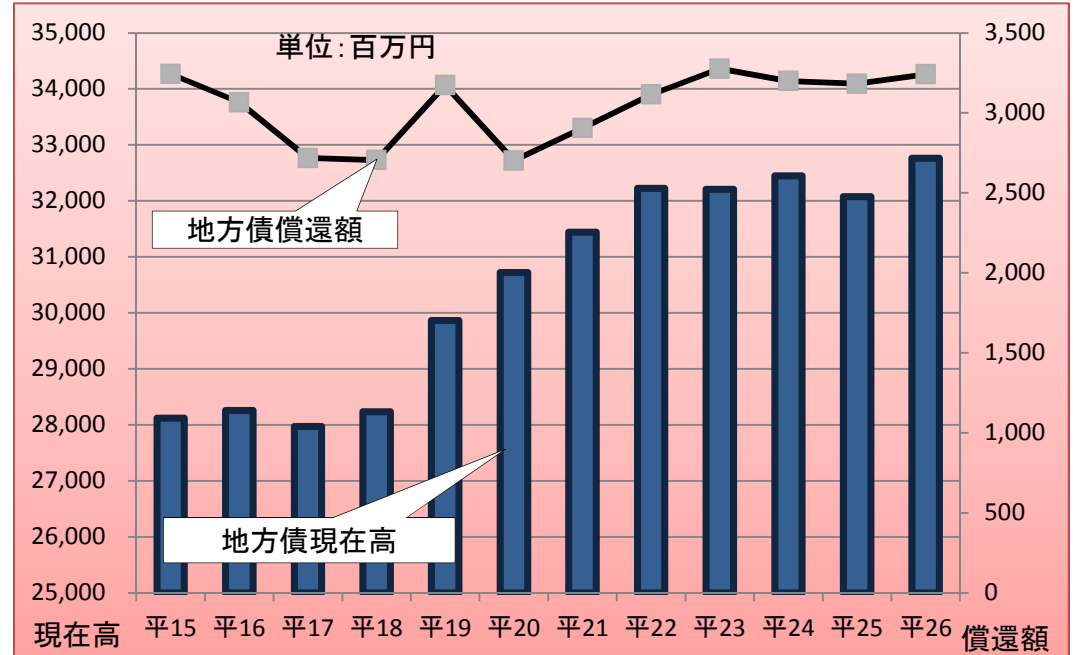
また公債費の比率は、横ばい傾向に推移しています。



## 地方債の状況

臨時財政対策債の残高及び償還額は増加していますが、建設事業債の残高及び償還額は減少しているため、横ばい傾向にあります。

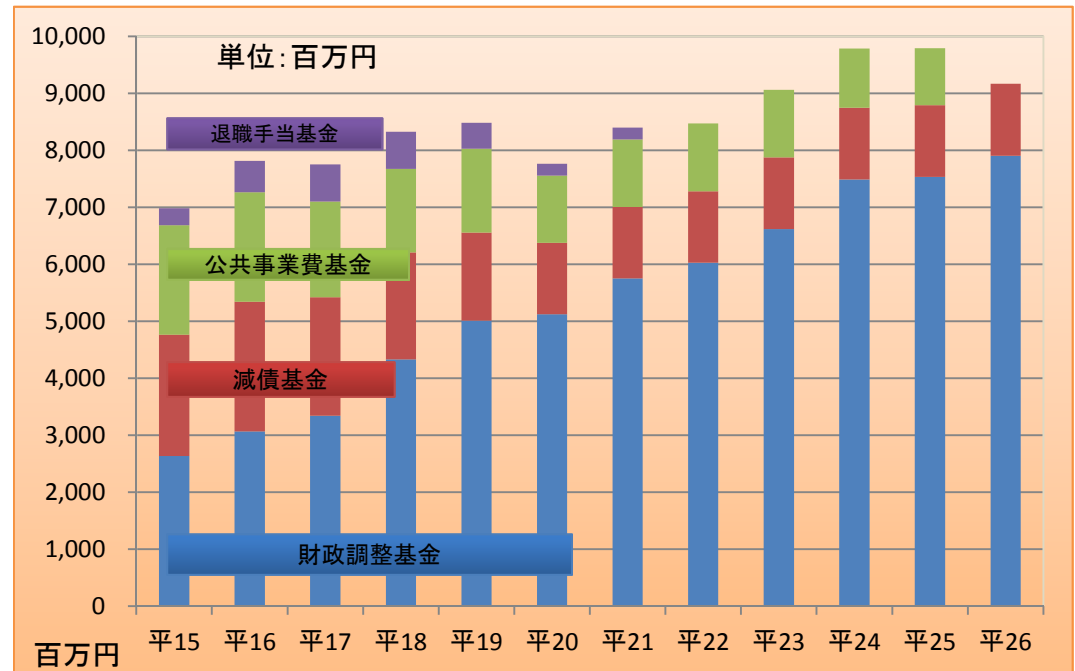
後年度にその償還が地方交付税で措置される臨時財政対策債は、平成26年度末の残高が17,595,950千円と普通会計の地方債残高(32,762,468千円)の二分の一を超えています。



## 主要基金の状況

主要基金は、災害等の突発的な支出や税収の落ち込み等に備え、年度間の財源の調整を図り、計画的な財政運営を行うため積み立えています。

平成26年度末の主要基金残高は、公共事業費基金を廃止し公共施設再編整備基金に編入したため、前年度末から625,391千円減少し、9,164,306千円となりました。





## 平成26年度に実施した主な事業

消防通信指令装置更新事業 決算額 319,248千円

消防・救急体制を充実・強化するため火災・救急・救助等の災害通報を受付け、出動指令をする消防通信指令装置を更新しました。



小学校校舎等耐震補強及び改修事業 決算額 277,743千円

小学校校舎の耐震化を進めるため、境川小学校管理棟の耐震補強工事や積雪被害にあった東山小中学校屋内運動場の復旧工事などを行いました。



## 平成26年度に実施した主な事業

青山小学校新校舎等建設事業 決算額 267,127 千円

青山小学校と西小学校が統合して誕生する山の手小学校の新校舎の建設に着手しました。（平成27年度完成予定）



(完成イメージ図)

不老泉建設事業 決算額 183,470千円

老朽化した不老泉を、誰もが利用できるユニバーサルデザインを採り入れた新しい温泉施設に改築しました。



## 平成26年度に実施した主な事業

消防救急無線デジタル化事業決算額 179,086 千円

消防・救急体制を充実・強化するため消防救急無線をデジタル方式へ移行する事業に着手しました。  
(平成27年度完了予定)

(写真は小鹿山無線局の電源装置)



市民球場防球ネット整備事業 決算額 170,698千円

硬式野球ができる環境を整備のため、市民球場に防球ネットを設置しました。



## 平成26年度に実施した主な事業

消防車両更新事業 決算額 159,041 千円

消防力の充実・強化を図り、火災・救急・救助等に迅速かつ的確に対応するため、消防車両を更新しました。

【平成26年度購入車両】

高規格救急自動車、水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車（CD-I型）、小型動力ポンプ付積載車、火災原因調査車

(写真は水槽付消防ポンプ自動車)



橋りょう長寿命化事業 決算額 151,810千円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、朝日橋、大学橋、桑名橋、小野谷橋、宮地谷橋の補修設計と中島橋、桑名2号橋の補修工事を実施しました。

(写真は中島橋)



## 平成26年度に実施した主な事業

介護施設等整備費助成事業 決算額 122,500 千円

介護基盤整備を図るため、小規模特別養護老人ホームの整備及び小規模多機能型居宅介護事業所の改修に対して助成をしました。

(写真は別府石垣園)



民間児童福祉施設助成事業 決算額 103,975 千円

民間保育所の施設改善を促進し、児童の保育環境の充実を図るため、老朽化した民間保育所の施設整備費に対して助成を行いました。



## 平成26年度に実施した主な事業

### 防災無線整備事業 決算額 85,199 千円

警報や避難勧告などの防災情報を周知し、被害を軽減するため、同報系無線などの情報提供システムを整備しました。

(写真はティ・エフ・シー本部ビル屋上に設置したスピーカー)



### 中央公民館リニューアル事業 決算額 80,021千円

利用者の安全性を確保するための耐震補強、文化財的価値を高めるための正面階段の復元や外壁の改修などリニューアル工事に着手しました。

(平成27年度完成)

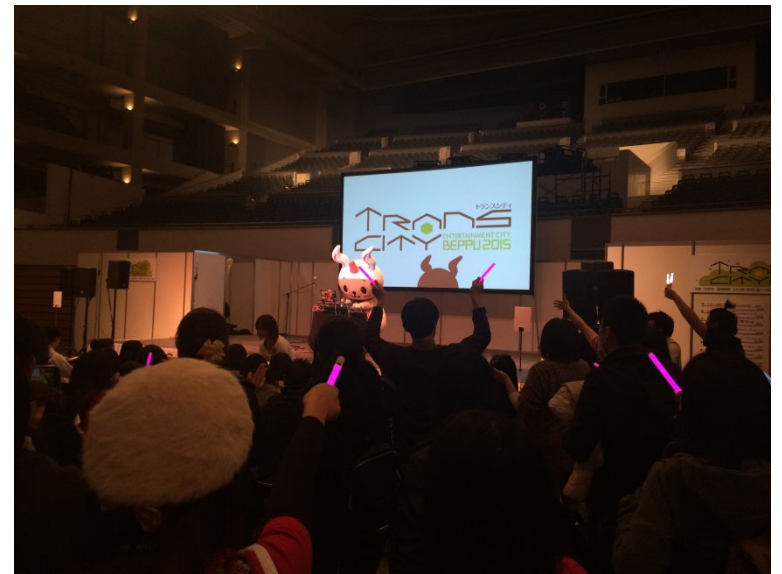
(完成イメージ図)



## 平成26年度に実施した主な事業

誘客プロモーション事業 決算額 75,058 千円

国内外からの幅広い層、多数の観光客を誘引し、宿泊客の増加や地域経済の活性化を図るため、多様なエンターテインメントコンテンツを活用した誘客プロモーション「トランスシティBEPPU」事業などを実施しました。



## その他主な支出

生活保護費	決算額 7,217,224千円	介護保険事業特別会計繰出金	決算額 1,567,400千円
自立支援給付費	決算額 3,052,981千円	後期高齢者医療療養給付費負担金	決算額 1,453,019千円
保育所（私立）運営費負担金	決算額 1,997,383千円	児童扶養手当	決算額 691,706千円
児童手当	決算額 1,669,640千円	国民健康保険事業特別会計繰出金	決算額 612,298千円

# 充当明細表

平成26年度 都市計画税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先	金 額
1 土 木 費	614,804
街路事業	198,487
都市公園整備事業	120,951
公共下水道事業特別会計繰出金	241,565
その他都市計画事業	53,801
2 公 債 費	442,540
長期債償還元金	389,689
長期債償還利子	52,851
合 計	1,057,344

平成26年度 入湯税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先	金 額
1 衛 生 費	7,059
塵芥処理費	1,517
し尿処理費	5,542
2 観 光 費	278,977
観光情報推進事業	36,841
観光客誘致事業	136,950
観光施設費	8,124
温泉施設費	97,062
3 消 防 費	26,129
消防施設費	26,129
合 計	312,165

平成26年度 競輪事業収入充当明細表

[単位：千円]

充 当 先	金 額
1 民 生 費	21,000
在宅支援事業	21,000
2 衛 生 費	369,000
予防費	249,000
母子保健費	120,000
3 土 木 費	14,000
パークゴルフ事業	14,000
4 教 育 費	96,000
文化振興費	25,000
体育施設費	62,000
パークゴルフ事業	9,000
合 計	500,000

平成26年度 地方消費税交付金（社会保障財源分）充当明細表

[単位：千円]

充 当 先	金 額
1 民 生 費	244,458
自立支援給付事業	139,055
共生社会形成事業	1,132
介護保険事業特別会計繰出金	57,928
後期高齢者医療事業	34,757
保育所入所事業	11,586
合 計	244,458